

赤こんりポーター 松村美沙枝リポーター



目指せ「養護大学」  
障害青年サポートセンター近江八幡

堀上町の障害青年サポートセンター近江八幡では、学校や作業所がお休みの週末の過ごし方として「サンデーゼミナール」を開講中。専門講師を招いての授業や、それぞれ興味のあることを調べる「研究活動」など、社会生活に活かせる学習や運動活動をオリジナルで組み、学びの場として提供されています。この日は書道家の福角窓月さんによる古代文字と書道の授業。大きな和紙に力いっぱい、古代文字の書をしたためました。生徒もボランティアも随時募集中。詳しくは090(1075)0962(立岡さん)まで。

令和4年度

まちのホットする情報をお届けします!

ママ・赤ちゃん向けフリーペーパーでも発信中!

馬場 利男さん (鷹飼町)

松村 美沙枝さん (船木町)

赤こんりポーターが決定!

ちょっといい話を探してレポートします!

詳しくは細かいアンテナを頼りに頑張るぞ!

東 恵子さん (中小森町)

今井 良治さん (加茂町)

市民が地域の魅力やイベントの取材情報などを、市広報紙やSNSなどで発信する「赤こんりポーター」の今年度のメンバーが決まりました。

これから市内のさまざまなできごとを、市民目線でお伝えしていきます。



Facebook  
ページは  
こちら



赤こんりポーター 東恵子リポーター



障がい者に「笑顔の日常を」

障がいのある人の日常を支えるヘルパー・中西由里香さんは、約3年前ヘルパー事業所を立ち上げた夫に後押しされ、ヘルパーを始めました。

「小学校高学年の時に、ダウン症の男の子とよく遊んでいたことも、自然に受け入れられたきっかけかな?」と中西さん。

5月のある日、利用者の重い知的障がいを伴う自閉症の女性を迎えに行きました。自閉症は、先天的な脳の機能障がい、こだわりが強くコミュニケーションが取りにくい人が多いそう。そんな利用者を誘いだし、リラックスさせるのも日々の積み重ねです。

「今は人の少ない公園に行くことが多いですが、気兼ねなく行ける場が増えると良いですね。人と楽しむことが好きな人にはおすすめのお仕事です」と話していました。

赤こんりポーター 今井良治リポーター



更生保護女性会、70年の節目を祝う

地域の犯罪・非行を未然に防止する啓発活動や、罪を犯した人・非行少年の更生に協力する近江八幡地区更生保護女性会の結成70周年記念大会が5月26日、県立男女共同参画センターで開催され、会員や関係者など約110人が参加しました。大会では、会長経験者への記念品贈呈や来賓祝辞などに続き、小・中学生時代に不登校を経験したことがきっかけで結成された湖国のロックバンド「ジェリービーンズ」がトーク&ライブ演奏を披露。参加者は心に響く歌声に聴き入っていました。会長の中江初子さんは「新しい気持ちで80周年に向かって活動を前進させたい」と話していました。

5月29日



老蘇のまちを  
巡りながら得点競う  
「第3回 Oisoing」

地域に「つながり」と「出会いを」をコンセプトにまちづくりを行う老蘇学区まちづくり協議会が、コロナ禍でも学区民の笑顔が見たいと「第3回 Oisoing」を開催しました。

学区内に多数ポイントを設け、そのポイントを回り点数を競うウォークラリーの要素に、仮装、ゲーム、ミッション、謎解きなど遊びの要素を加味し、老若男女誰もが楽しめるようにしたもので、15チーム・56人が参加しました。

思い思いに仮装した参加者らは、18の地点ポイントで写真を撮ったり、13のミッション、5つのゲームを楽しんだりしながら、老蘇のまちを巡りました。

6月15日



蛇砂川改修促進協議会主催で  
蛇砂川新川一部通水のセレモニーを開催

蛇砂川新川(西生来町~安土町内野)に水が流れることを記念し、武佐コミュニティセンターで式典が開催されました。蛇砂川は、天井川であるとともに尻無川であるため、周辺では過去に何度も浸水被害を受けてきました。このため、洪水を安全に流下させ、地域住民の生命・財産を守ることを目的に、昭和49年度から国の認可を受けて県が河川改修事業を行ってきました。令和元年度までに、西の湖から西生来町地先までの河川改修を完了し、令和2年度から童子が原の河道掘削に着手。今年度、バイパス河川に水を流すための分水工が完成したことにより、末広町周辺の浸水被害を軽減させることとなります。現地では、市長と関係者によるテープカットが行われ、完成した分水工が披露されました。

5月28日~6月5日



「市の花」可憐に咲き誇る  
武佐学区で「むしゃりんどう」の展示会

武佐地域で発見されたのが花の名前の由来といわれ、「近江八幡市の初夏の花」として選定されている「むしゃりんどう」の展示会が、武佐コミュニティセンターをメイン会場に開催されました。今年は約400鉢余りを、地元で栽培活動に取り組む「むしゃりんどう保存会」が、武佐本陣前、いばeco広場、西福寺など学区内の約10か所に展示。

6月2日は、武佐こども園の5歳児34人と2歳児15人が武佐コミュニティセンターを訪れ、4月に同保存会メンバーとともにプランターに植えたものや棚に並ぶ花を見つけると、「きれい!たくさん咲いている!」などと声を上げ、棚に駆け寄り眺めていました。

6月14日



(一社)近江八幡観光物産協会の森嶋篤雄会長が  
観光振興事業功労者を受賞

(公社)日本観光振興協会が、地域の観光振興に顕著な功績があった人をたたえる令和4年度「観光振興事業功労者表彰」に、(一社)近江八幡観光物産協会会長の森嶋篤雄さんが選ばれました。

森嶋さんは、同協会の副会長、会長を歴任。安土町観光協会の統合や、新たな観光振興のあり方としてDMOの認定を目指した取り組みでは、市内外の多様な関係者とのパイプ役として活躍されるなど、市の観光振興に寄与した功績が高く評価されました。

この日、市役所を訪れた森嶋さんは「近江八幡のまちづくり、観光づくりで多くの人たちに尽力いただいたおかげだと感謝しています」と小西市長に報告しました。